

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 達人講座の実施
活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、21講座を実施する。
点検評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 昨年度同様、感染症対策のため実施できなかった講座もあったが、今年度新たに6講座(スペシャリストのお仕事体験、ゆかた着付け、そろばん、オンライン授業体験、けしごむはんこ、ポコアポコアート体験)を加え22講座を開設した。講座数は前年度より減ったものの、申込者数は増加し、コロナ禍前の令和元年度の402人を超えるものとなった。 ・令和2年度: 9講座(申込者数287人)※感染症対策のため後期のみ開設 ・令和3年度: 25講座(申込者数437人、前年度より52%増) ・令和4年度: 22講座(申込者数442人、前年度より 1%増) </p>
課題等	<p>令和2年度から令和4年度まで、新型コロナ感染症対策のため実施できていない講座が複数あるため、再び実施できるよう講師と実施方法を検討する。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	<p>良い活動だと思う。目標を上回っており、実績も増加している。楽しみにしている人もいると思う。リストを加除修正しながら継続していただきたい。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図り、市内各所(小中学校25校、社会教育施設等17か所)に配置し、市ホームページも更新する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 人財名簿への新規登録はなし。 活動実績は53件あった。 令和4年度 登録50人 18団体 差し替え名簿を配置先へ送付するとともに、4月1日に市ホームページを更新した。
課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていきたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。 利用実績を明確にしていくため、仕組みづくりが課題となっている。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたため名簿を更新し、人材名簿を充実させて継続していただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	<p>市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(65講座)」を実施し、利用件数150件、受講者数7,000人(延べ)を目指す。</p> <p>令和元年度58講座(実績:238件、14,779人) 令和2年度66講座(実績:126件、7,717人) 令和3年度65講座(実績:133件、4,038人) 令和4年度65講座(実績:178件、5,212人)</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>コロナ禍により、引き続き市民活動が全体的に自粛傾向であったことから、結果としては124件4,505人の受講にとどまり、件数、受講者数ともに前年度並みであった。</p> <p>メニュー講座として、「救急や防災に関する講座」、「ボッチャ体験」、「木育を体験しよう」の申込みが多かった。</p> <p>メニューにないものの担当課が受け入れた特別メニューの講座としては、「SDGsに関する講座」、「冬に向けた感染予防に関する講座」、「はちくんによる小中あいさつ運動」の3件であった。</p>
課題等	<p>メニュー講座65講座のうち、利用は「救急や防災講座」、「ボッチャ体験」など28講座だったが、利用のない講座もあるので、市民ニーズにあったメニューの見直しとより一層の周知をしていきたい。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等意見	<p>近年、全国的に水害や地震など災害が多く、「救急や防災に関する講座」、「SDGs」などタイムリーな講座が多い。</p> <p>今日の新聞でも掲載されていたが、より効果的なPRを行い継続していただきたい。</p> <p>法務局などの外部機関からの情報もあると効果的だと思う。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。わんぱくスクール全5回延べ70人、ラジオ体操開始・終了大会10団体100人他を予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
点検評価	依然として、コロナ禍ではあるものの、感染対策などを講じて事業をできるだけ実施するというスタンスで取り組んだ。休日や夏・冬休みの小中学生を対象とした事業は、「将棋・囲碁教室」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「サケの放流事業」「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだ。事業の中止はほとんどなく実施できた。 「わんぱくスクール 全8回、延べ115人」、「囲碁、将棋教室 各3日、延べ64人」、「ラジオ体操開始大会 13団体、約90人」、「ラジオ体操修了大会 11団体、約100人」
課題等	今後も感染症対策を講じながら、小中学生が興味を持つようなイベントや活動内容を工夫しながら企画する努力を継続する。 「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしろ学舎」などの事業で実施した複数館合同での事業実施は、今後さらに必要となる。子どもにとって身近な存在の公民館を目指す。
課題等	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが5類に移行されるため、事業を継続しながらさらに上積みし、子どもたちにとって面白い公民館になるよう、知恵を絞ってほしい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 学校支援活動事業の推進
活動内容	市内の全小中学校を対象に、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用する等、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援する。 (地域協力者予定数:14, 269人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を配置し、地域と学校の連携・協働を図った。今年度の地域協力者数は13, 241人(上半期の感染対策による行中止のため減)。 ①各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育の支援、クラブ活動やスキー教室等の学校行事における地域協力者のコーディネートによる教職員の負担軽減。 ②地域課題の解決に向けた活動として、児童・生徒による地域のクリーンアップ活動や防災活動、伝統芸能・郷土芸能の継承、福祉施設での活動など、さまざまな地域と学校の協働活動を推進した。 ③学校ホームページや学校報等により、児童・生徒の様子や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保につなげた。
課題等	学校が抱える課題や地域と連携・協働して取り組むべき課題について、十分な情報共有と一体的な推進を図るため、学校運営協議会の構成委員として、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)が参画できるよう周知・啓発に努める。
学識経験者等意見	地域コーディネーターの業務は、人のつながりが大事である。こういう人の活躍の場を含めて支援していただければ有難く、また、学校としても有難い。 困った時にはコーディネーターに頼っていただけるような体制の構築が必要である。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	② 家庭教育の充実
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべりひろばひだまり」は家庭教育支援チームと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
点検評価	<p>○「おしゃべりひろばひだまり」 計画していた全12回講座を全て開催でき、参加者は託児を含め221人となった。</p> <p>○「子育て講座」 昨年度は感染症の影響により講座を中止する団体が多く、37講座の開講となったが、今年度は40団体全て開催できた。参加者数は前年度より4人増の計1,546人。</p> <p>○「親育ち！家庭教育支援ネットワークづくり事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・適応指導「おおとり教室」ふれあいお楽しみ会(木育体験、絵馬作り&防災講座)…参加者26人、ボランティア7人 ・助産院イスキア菅原光子先生による孫育て講座…計3回実施 参加者計30人 ・学校、家庭、地域連携総合推進事業担当者スキルアップ研修会「地域全体で家庭教育を支え続けるために」…会場参加者42人 ・特別支援学級でのニュースポーツ等体験…計3回実施 参加者計27人 ・「Let'Go!木育ひろば」…計13回実施 参加者計1,139人 </p>
課題等	<p>「おしゃべりひろばひだまり」は感染症の影響でカフェタイムが取れない回もあった。来年度は対策を講じつつ保護者が相談できる場を多く作りたい。</p> <p>スキルアップ研修会は児童民生委員等周知範囲を広げ、当日参加できない方は動画視聴可能にしたところ申込者が倍増した。今後も広く周知し参加者を増やしたい。</p>
課題等	<p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>子育て講座や家庭教育は大事にしなければならないことである。横のつながりが大切で、民生委員の参加について、範囲を広げたことは非常によいことと思う。普段から親しみをもって接することが大事である。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	③ 音楽療法士派遣事業
活動内容	<p>継続事業として、市内幼稚園、保育園、小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。</p> <p>事業計画:全22回予定。</p>
点検評価	<p>■ 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p>□ 目標どおり (95~100%)</p> <p>□ 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p>□ 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や、気になる子を含めた保育園児を対象に23回の派遣を実施した。(小学校13回、中学校2回、保育園8回)</p> <p>先生と音楽療法士が協力することで、ドラムセットやDJセットなどさまざまな楽器を用意し、一緒に演奏や交流することを楽しみ、精神的な安定とコミュニケーション能力の向上に努めることができた。</p>
課題等	<p>上半期は新型コロナウイルス感染症のため、学年閉鎖等による延期や中止が何度かあったが、下半期は児童・生徒からの要望などにより一気に申請数が増え予定回数を超える結果となった。</p> <p>児童生徒のリピート率が高く、今後も音楽療法士の派遣事業は継続していきたい。また、講師の負担を減らすため、開催時期が集中しないよう調整していきたい。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
学識経験者等意見	<p>派遣ニーズが多く、支援学校の要請が多い。</p> <p>講師の先生は多忙のようであるが、開催時期を調整しながら、継続していただきたい。</p>

重点施策点検・評価表

3-2-4

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	④ 青少年健全育成活動の充実
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。(動員目標数98人)
点検評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 また、7月2日に中央公民館を会場に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催し、大館曲げわっぱ太鼓によるオープニング公演や、内閣総理大臣メッセージの伝達、秋田法務少年支援センター職員による特別講話を実施し、青少年の非行・犯罪防止と、社会を明るくする運動の啓発に努めた。 (参集者数111人) </p>
課題等	<p>中央公民館を会場とするため、密になりすぎない程度に人数を制限し、今後も7月第1土曜日に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催したい。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	開催年数が長く、地道な活動を続けていることに頭が下がる思いである。こういった活躍の場面があれば、関係者のみなさんの励みになると思う。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑤ 少年相談センターの活動の充実
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。(少年指導員の年間計画延べ200人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>青少年や保護者が抱えるさまざまな問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、教育研究所、おおとり教室、子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めた。また、少年指導員28人により、市内全コンビニ店への子どもの見守り支援活動や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視などを通して、青少年の健全育成に努めた。 (少年指導員の年間活動延べ197人)</p>
課題等	令和4年度の相談件数は、延べ322件と過去最も多い相談件数となっている。 また、高齢となっている職員の後継が見つからず、人材確保の面が課題となっている。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	相談件数が多く、職員の方には難儀をかけているが、相談内容には継続した案件や複雑な案件があるため、相談員の人選に関しては、今後の課題である。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑥ 社会教育委員の活動の充実
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。また、学校訪問・研修会等の開催を周知し、40人以上(延べ)の参加を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 北教育事務所主催の学校訪問は6回(12校)、市教育研究所主催の授業見学は5回開催された。 北鹿地区社会教育委員研修会は、令和4年11月15日に鹿角市「大湯ストーンサークル館」において開催された。本市からは阿部委員長ほか4人が参加し、他市町社会教育関係委員と「地域とともに歩む社会教育の在り方」について意見交換を行った。 そのほか、当課主催の講座や研修会など計18回の案内に延べ50人が参加し、積極的に活動することができた。学校訪問では各委員から各校の取り組みへの意見、助言のほか推薦母体からの協力の申し出など、学校を取り巻く環境の向上に対する熱意を伝えることができた。各種活動からの経験を生かし、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行っている。 令和2年度 訪問等 延べ参加人数 6人(3回) 令和3年度 訪問等 延べ参加人数 58人(16回) 令和4年度 訪問等 延べ参加人数 50人(18回)
課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け見える活動を展開していきたい。また、活動を通して得たものを第7次大館市社会教育中期計画の実現と第8次大館市社会教育中期計画(令和6年度改定)に反映させる。
学識経験者等意見	目で見ること、子どもたちの様子がわかる。学校関係者だと偏った見方となるかもしれないが、社会教育委員として、いろいろな視点で学校を見るのがよいと思う。ぜひ継続していただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑦ 生涯学習推進体制の充実
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	生涯学習推進協議会では、7月に幹事会(書面協議)、8月23日に協議会を開催した。令和4年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見や助言等が出された。今後、各種生涯学習事業の展開・改善に役立てていく。 また、生涯学習奨励員については、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力や県及び北鹿地区の総会、各種研修会への参加などの活動を行った。
課題等	<p>「市民版ふるさとキャリア教育」を具現化する位置づけであるポータルサイト「大館学び大学」が昨年の4年月にグランドオープンした。生涯学習推進本部としてさらなる庁内連携を進めるとともに、今年度の協議会での委員の意見を反映できるようにしていきたい。</p> <p>生涯学習奨励員には、学習した成果として、地域住民が各種行事や学習会などに参加できるよう、学習情報の収集と提供ができるようにしたい。</p>
	<p>取組の方向性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	大館学び大学との関連性、つながりを強くしていただきたい。学習した成果を地域で生かすことは、奨励員の方もやりがいを感じるのではないかと思う。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑧ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。中央公民館老壮大学110人全9回、各地区公民館高齢者学級開催(11館)。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	定年延長などにより、60歳代でも働いている人が増えているため、事業参加者の高齢化が進むとともに、参加者数の減少がみられる。 健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座の提供も必要であり、何より市民の興味を引く内容の事業展開が必要だった。 今年度実績:老壮大学 全9回学生110人(前年度全10回116人) ほか全地区公民館(11館)でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会 25人(同23人)中央公民館 " 20人(同25人)比内公民館
課題等	近年は60歳を過ぎても就労している方が多くなっている。 今後は、そういう方たち向けに夜間や休日に事業を実施するなどの工夫が必要である。また、健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座の提供も必要と考える。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	参加人数を気にせずに、参加者からのニーズを的確に捉えてメニューを考えていくとともに、少しずつでもよいので、講座内容が魅力あるものになるよう進めたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑨ 大館版リカレント教育事業の展開
活動内容	人生100年時代に対応して、学び直しに向けた環境作りを推進する。 (地方創生推進交付金事業) 令和2年度から4年度までの3年間事業(単年度申請による3年間事業)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 働く学部ではオリジナル講座を32回、オリジナル特別講座を1回、グランドオープン記念フェスタ(2日間)を開催した。受講者はオリジナル講座では1回に4人から10人が受講し、全体として延べ186人が受講した。 本事業へ企業版ふるさと納税による寄附があったことから特別講座を開催し、102人が受講した。記念フェスタには企業10社16人が参加し、83人の市民が参加した。教育学部ではサイト内の各学校紹介を学校教育課と連携して作成し、3月に公開されている。教育視察の受け入れフォームを掲載し、申し込みが学校教育課へ送信される流れができた。
課題等	年度後半は教育学部の学校紹介サイト構築に業務の負担割合が増加し、オリジナル講座の開催が少なくなったことから、他業務に影響されない定期的な講座開催が必要である。 リピーターがいるものの、受講者は限定的になっていることから、より周知を強く広く行いながら、市民ニーズをとらえ、講座へ反映させていく必要がある。企業連携によるつながりを構築し、学び大学を通じた企業と市民の学びの場を構築していく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	継続性のある事業を展開することにより、地域の誇りにもなるため、ますます広がっていくことが期待されている。 大学と企業のつながりを作りながら、今後も講座の充実をしていただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑩ 障害者のための生涯学習の推進
活動内容	障害者施設との連携による障害者の生涯学習の場として講座等を実施するとともに持続可能な活動の実践研究を行う。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 文部科学省より事業2年目として受託し、生涯学習連携協議会を3回、生涯学習講座を7回、ボランティア養成講座を2回開催した。(ボランティアはコロナにより1回中止) 連携協議会に新たに2高校、2施設を加え、19団体による連携の輪ができた。第3回連携協議会では福祉部門との事業連携の可能性がでてきた。 昨年度中止となった比内支援学校青年学級を中央公民館を会場に開催できたことが成果としては大きい。また、11月のおうちパン講座からは連携協議会の委員が講座見学や参加体験しており、より本事業への理解や協力が進んできている。 講座全体の参加人数について、生涯学習講座は述べ181人が参加し、うち障害者は54人の参加であった。ボランティア養成講座は33人が参加し、アンケート調査では障害者との交流を求める声が多数あった。また、コロナ禍で講座をアーカイブ配信するなど実験的な取り組みも行った。 </p>
課題等	<p> 今年度の成果や参加者の声、連携協議会での意見を次年度の事業へ反映させて、生涯学習講座やボランティア養成講座を実施していく。 講座の中に数種類を盛り込み、参加した障害者が選択して参加する取り組みや在学中からの交流を図り、学校卒業後のつながり作りを支援していくことで、社会教育施設を活用した生涯学習の場の形成を行っていく。 </p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	特別支援学校は、出口の部分が難しいため、人材育成も含めて必要である。福祉関係施設と連携し、今後も継続しながら充実させていただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
①	高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施
	中央公民館
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行ったので、今後も取り組んでいきたい。また、各公民館事業に中学生、高校生、大学生のボランティアを活用し、公民館活動に積極的に参加してもらおう。(11館)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 「HACHI」のメンバーは全26人。参加校は全て鳳鳴高校生となり、メインとなる「ハチウイン」を開催することができた。「おおだて巡り」では高校生の希望により市内各所を巡ったほか、交流推進課の出前講座を受講した。 生涯学習フェスティバルでは、昨年度中止となった「児童との交流コーナー」を実施した。地元大学とのタイアップ事業は、コロナウイルス感染症の影響で進めることができなかったが、地区公民館においては、文化祭に作品の展示や、舞台での発表などで参加してもらった。 今年度実績:活動回数 延べ16回135人(前年度17回176人)で目標どおり。
課題等	「HACHI」のメンバーは鳳鳴高校生のみのため、他の2校の生徒に呼び掛けるとともに参加を促したい。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携については、事業の内容や連携の在り方の検討が必要である。 高校生が描く大館市の未来像を作ってもらうことも検討したい。
学識経験者等意見	高校が3校しかない中で、メンバーとして3高校の生徒がいてくれた方が望ましく、肩の凝らないメニューで参画してもらえればと思う。また、HACHIの地道な活動を続けていけば、いずれ花が咲き、OB・OGも大館市をよくしたいと考えるようになると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施
活動内容	社会教育施設、各種機関、団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。メイン開催日(2日間)の会場となる中央公民館の来館者数目標を2,000人とする。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 9月、10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館、ほくしか鹿鳴ホール、北地区コミュニティセンターなど、各機関、団体等による協賛イベントが開催された。延べ参加・入場者数は8,250人。 9月24日、25日の中央公民館会場では、新型コロナウイルス感染症対策のためサークル協議会による食堂開設は見送ったが、概ね通常どおり開催することができた。 木育キャラバンをはじめ、中央公民館サークル協議会、大館市発明協会、教育研究所等による作品展示のほか、大館桂桜高等学校生徒によるものづくり体験など、生涯学習の周知と実践活動発表の機会とした。来館者数が1,748人と目標をやや下回った。 </p>
課題等	<p> 今後の感染状況次第によっては、サークル協議会の食堂開設も含めた通常開催を検討していく。また、行事・イベントが重複しないよう庁内や関係団体などと調整し開催する。 </p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	<p> 早めに周知し、PRしていただきたい。 新型コロナウイルスの制限が感染症法上の位置づけが5類に移行されるため、イベントに参加する関係者が、今年はやりがいを感じる場面になると期待している。 </p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	②「大学公開講座」の実施
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を2回開催する。 実施校:秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学の各校1回
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 秋田看護福祉大学の「大学公開講座」は、9月29日、30日の2日間に開催し、血圧、健康をテーマにした講義を実施した。受講者数は延べ69人。 秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開市民講座」は、生涯学習強調月間である10月中に3回開催し、同大学の教授・講師陣から三次元CAD、アルコールストーブ、量子力学をテーマに講義を実施した。受講者数は延べ34人。
課題等	秋田看護福祉大学の「大学公開講座」について、コロナ禍の中、大学を訪れての公開講座は難しかったため、中央公民館に場所を変更し開催した。以降は、開催場所の検討が必要。 秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開講座」は、全体的に少し難しい内容となる傾向にあるが、今後も大学校による専門分野の講座という特色を生かし、継続していきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	大学と大学校の特色や強みを生かし、実益を兼ねて参加者が楽しみながら学ぶことができればよいと思う。何を教材にするのが大事である。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	③ 地区住民や関係団体との連携強化
	中央公民館
活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行うとともに、相互支援の体制を強化する。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は、コロナ禍と8月の大雨災害で市総合防災訓練が中止になった。各公民館の避難所部屋割・経路図と避難所用物品一覧表の作成を行い、誰でもわかるように準備を進めた。また、公民館や学校、町内会などと共催で避難訓練を実施している。
課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。 今後もより良い協力関係を築くよう努力し、有事における地区災害対策本部としての役割を想定した訓練を実施していく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	災害があると、気持ちがめいることと思うが、安心・安全からスタートさせ、住民のコミュニティづくりをバックアップをしていくには、公民館の役割が重要である。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	④ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
	中央公民館
活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点となっている、地区公民館及び分館等の修繕等施設整備を進めていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 釈迦内公民館と花岡公民館の大規模改修が実施される見通しがたった。今後も地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。今年度は新型コロナウイルス対策事業として、中央公民館ほか5公民館にエアコンの設置を行った。年次計画に基づきストーブ、AEDなど備品の更新を実施することで側面からの支援も行った。
課題等	地区公民館分館は15施設あるが、老朽施設が多く、計画的に整備しても長期に渡ることからその間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外でもストーブやエアコンの老朽化が進み、故障の都度修繕で対応しているが、計画的に更新する必要がある。 地区住民の生涯学習の拠点として機能するため、限りある財源の中で優先順位を適切に判断し、予算確保の努力を継続する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	1年に1館ずつの大修繕を行っても15年がかかる。しかし、いずれ何とかしていかないとならないため、優先順位をつけて1歩1歩進めてほしい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	⑤ 公民館事業の充実と参加促進
	中央公民館
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい、今後の事業に反映するように努めている。今年度もコロナ禍による事業縮小など制約を受けながらではあるが、地区公民館では二井田公民館の「地区の過去を知る映像観賞会」の新規開催や恒例の田代公民館「米代川川下りカヌー体験」をドローン撮影してYouTube公開するなど工夫を凝らして事業を展開した。
課題等	地域住民のニーズを把握しながら事業の見直し・改善を進める必要がある。そのため、必要に応じてNPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動(社会貢献)を活用して事業を充実させる。また、矢立公民館と釈迦内公民館による地区歴史研究会をつないだ羽州街道勉強会のように、複数の公民館共同による事業をさらに進め、地域を超えた新たな人間関係を形成したい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	アイデアを拾い集め、事業を促進していかなければならない。 また、他市町村を参考にアイデアをもらいながら、刺激になるような事業を各公民館にも拡大していただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑥ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会(ドッジボール、カルタ)を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響のため、各児童クラブにおいて行事やイベントの開催を自粛及び規模縮小することとなったが、感染症対策に留意しながら工夫して季節の行事やイベントを開催し、児童に対して放課後の体験活動を提供することができた。 直営全体でのドッジボール大会は感染症拡大のため直前で中止となったが、カルタ大会については昨年度も開催した各クラブで行う予選に加え、3年ぶりにクラブ対抗で行う本選も開催することができた。 毎月1回の定例会については感染症対策を講じて開催し、昨年度は2回の開催だった研修会も、支援員より希望のあった救命講座を加え計3回実施した。
課題等	今年度開催できなかったドッジボール交流会を開催できるよう、実施方法を再検討する。 国の新・放課後子ども総合プランによる高学年児童の受入れについては、施設設備や面積要件、三密を避ける対策等クリアすべき事案を整理しつつ、児童数の減少とも結びつけながら図っていく必要がある。
学識経験者等意見	放課後児童クラブやわくわく土曜教室などは親の関心が高く、学校の枠を離れたネットワークがあるため、親同士の情報交換ができています。 職員も異動させながら、場所によって違いがないように放課後児童クラブの刷新を図っていただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑦「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。カルタ大会の運営に高校生ボランティア(目標5人)を募り、審判・読み手の育成も図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 令和元年度、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中央公民館で開催していた代表者による本選は中止し、各児童クラブごとの開催にしていたが、今年度は保護者による送迎や観覧をなくし、参加児童数を制限することで3年ぶりに本選を実施することができた。 事前に各クラブで行った予選や本選のための練習では、読み札を暗記した児童が読み手を務め、大会終了後は予選や本選実施後に行った報告会の影響により、本選に参加していない児童や高学年生も大館ふるさとカルタに関心を持ち、クラブの自由時間に遊ぶ姿もみられ、普及の一助を担えたものと考えられる。
課題等	一部のクラブで本選への参加を希望する児童がおらず、不参加となった学年もあった。カルタ大会を今後も継続して開催していくとともに、大会の時期だけではなく、児童クラブにおいて日頃から大館ふるさとカルタに親しめるよう新たな取り組みを見出したい。また、本選での高校生ボランティアは1名のみの参加であり、開催時期やボランティア募集方法に関しても再検討する必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	ふるさと学習にも直結するため、どんどん実施していただき、ふるさとの歴史を学び郷土愛を育む機会を作っていただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑧ 木育事業の実施
活動内容	移動型木育ひろばを展開する。市民交流センターの木育空間を利用した乳幼児から高齢者までの世代間交流の機会創出を図る。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 前年度に引き続き移動型木育ひろば「Let'Go!木育ひろば」を保育園、小学校、支援学校など11か所で計13回実施し、幼児から高齢者まで延べ1,139人が木のおもちゃに触れながら楽しい時間を過ごした。 今年度で4回目となった移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」については、昨年度感染症の影響により人数と時間制限を設けたが、今年度は消毒を徹底し、制限を設けずに開催することができた。2日間で延べ1,748人の来場があり、多くの子育て中の親子が全国各地の選りすぐりの木のおもちゃと出会い、木の感触や香りを感じながら楽しい時間を過ごし、自然環境の保全や木材の良さを学ぶことができた。 また、開催にあたり市内の木育インストラクター21人、高校生19人にもボランティアとして協力いただき、世代間交流の場にもなった。 </p>
課題等	<p>より多くの市民が木に触れる機会を創出するため、木育イベントやワークショップを開催し、木の良さや自然環境の保全を周知していく。</p> <p>秋田杉をはじめとする市内及び県内の木や自然についても、木育インストラクターによるお話やイベントを通して周知していきたい。</p>
学識経験者等意見	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p> <p> 楽しめる活動のイメージがあるので、ぜひ継続していただき、自然環境の保全や木材のよさを学ぶ機会の場を創出していただきたい。 </p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 図書館運営に関する進行管理
活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り、「生涯読書」活動を推進する。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、市広報誌にQRコードを掲載して蔵書検索と予約を可能とした読書啓発活動を推進している。 感染防止対策を講じながら、新規事業として園児を対象とした絵本の読み聞かせ会、小中学生を対象とした「真夏の怪談会」など、特色あるイベントを開催し、利用者の増加につながるよう努めている。 読書活動の推進を図るため、第3期大館市読書推進計画の検証、読書バリアフリー法の制定、社会状況の変化を踏まえ、指定管理者との協議を行い、大館市図書館協議会委員の意見・提言を反映した第4期大館市読書推進計画を策定した。 </p>
課題等	<p>「読書バリアフリー法」の制定、社会情勢の変化を踏まえながら、読書啓発活動と情報提供、読書環境の整備、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	<p>計画を作成することにより課題が整理できる。 指定管理者と連携し、図書館を運営していただきたい。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用
活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として、文化庁「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業・芸術家の派遣事業)」、「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」等の周知を行った。令和4年度は新型コロナの影響もあったが2校が実施。令和5年度は3校が申請している。</p>
課題等	<p>「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間、行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、6年目として関係団体と連携しながら実施予定。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	子どもたちが、本物の文化芸術に触れるよい機会である。継続してバックアップしていただきたい。

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課(館)
	生涯学習課
	② 郷土芸能保存協会等との協働
活動内容	子どもから大人まで参加できる大館市伝統文化親子教室事業「未来へつなごう 大館市の伝統文化」を開催し、伝統芸能の体験の場を作るとともに、それらを通じさまざまな形の交流を図る。また、教職員を対象とした伝統芸能の体験の場を設ける。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95～100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80～94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>文化庁より5年目となる当該事業を受託し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、8月3日に「大館市伝統文化親子教室～教職員のための伝統文化の体験会～」を開催した。今年度は、新たに将棋講座を加え、書道体験、茶道体験、華道体験を実施し、参加者は46人であった。</p> <p>小中学生による郷土芸能発表会は、ほくしか鹿鳴ホールを会場に11月23日に開催した。出演団体は8団体(小学校3校、中学校2校、3団体)、出演者124人であった。発表会の映像は、YouTubeを利用して配信することで、次世代へ残す記録資料にもなり、郷土芸能の保存・継承・発展につながるが見込まれる。</p>
課題等	<p>少子高齢化により郷土芸能を継承する地域の人材の確保が困難な状況となっている。加えて、学校統合により地域の歴史や伝統文化を保存・継承・発展させていくことが困難になっている状況も生まれている。各小中学校において、地域の自然・文化に触れる体験や地域の人々との交流など、地域の特色・資源を生かした教育活動を進めることにより、郷土を愛し、地域で活躍する「未来大館市民」の育成を図りたい。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	<p>伝統文化を継続し、さらに充実させていただきたい。YouTubeも活用していることでさらに広がっていく可能性がある。</p> <p>郷土芸能を継承する地域の人々の励みになるよう交流の場を設定し、盛り上げてほしい。</p>

基本目標	
3	ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課(館)
	生涯学習課
	③ 新たな芸術文化体験の機会の提供
活動内容	ほくしか鹿鳴ホール自主事業と、さらなる学びの機会の充実を図る。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p> 指定管理者の自主事業で、ウクレレワークショップ、松田鉄雄バイオリン教室などの「大人の学びなおし」の場創出事業を開催し、さらにリカレント教育との連携した事業を開催した。また、日本放送協会秋田放送局と大館市の主催により、「民謡をどうぞふるさとデリバリーin大館市」を開催し、地域文化の振興とこれまでの課題であった集客するイベントを開催した。 新たな情報発信の方法として、Wi-Fiの環境整備をおこなったことでICTを活用した講演等の動画配信など、多彩な文化芸術情報の発信をさせていくことができた。 </p>
課題等	<p>街のにぎわいにつながる集客力のあるイベントの継続開催、ネット環境の整備による文化芸術活動の展開と発展に努めていく。</p> <p>取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </p>
学識経験者等意見	いろいろな力を結集して指定管理者と力を合わせ、文化芸術活動の発展に努めていただきたい。また、街のにぎわいにつながる集客力のあるイベントを継続していただきたい。